

新しい地方経済・生活環境創生交付金（第2世代交付金） 活用事業の検証について

1 ソフト事業について

（1）対象事業

地方版総合戦略に基づく、地方創生の推進に資する地域独自の取組みを行う事業

（2）活用状況

令和7年度は16事業について計4億5,523万円を活用

（3）重要業績評価指標（KPI）の進捗状況

《全体の状況》

	指標値を 達成	概ね順調に 推移	更なる取組みが 必要	策定時を 下回る	合計
項目数	28項目 (63.6%)	2項目 (4.6%)	11項目 (25.0%)	3項目 (6.8%)	44項目 (100.0%)

※KPIは62項目設定しているが、統計値未発表の18項目については除いて集計

《各事業の評価》

KPIについて、更なる取組みが必要な項目や策定時を下回る項目があるものの、各対象事業の実施により「第4次山形県総合発展計画 後期実施計画」の推進が図られた。

なお、継続事業については、KPIの進捗状況を踏まえて適宜事業内容を見直しながら、指標の達成に向けて引き続き取り組んでいく。

2 拠点整備事業について

（1）対象事業

地方版総合戦略に基づく、地方創生の推進に資する施設の整備等を行う事業

（2）活用状況

令和4年度※は1事業について2,582万円を活用、令和5年度※は3事業について2億3,907万円を活用、令和7年度は1事業について1,125万円を活用

※ 地域再生計画期間内（原則5年間）の効果検証が必要

（3）重要業績評価指標（KPI）の進捗状況

	指標値を 達成	概ね順調に 推移	更なる取組みが 必要	策定時を 下回る	合計
項目数	3項目 (100.0%)	0項目 (0.0%)	0項目 (0.0%)	0項目 (0.0%)	3項目 (100.0%)

※KPIは15項目設定しているが、統計値未発表の8項目、施策効果の発現が今後となる4項目については除いて集計

《各事業の評価》

KPIについて、施策効果の発現が今後となる事業があるものの、各事業によって「第4次山形県総合発展計画 後期実施計画」の推進が図られた。整備した施設を活用し、指標の達成に向けて引き続き取り組んでいく。

【参考】

新しい地方経済・生活環境創生交付金制度要綱第12の規定により、当該事業に関する毎年度の達成状況等について検証・評価するに当たり、学識経験者等の第三者の意見を求めるよう努めることとされていることから、本県では山形県総合政策審議会において検証・評価することとしている。

新しい地方経済・生活環境創生交付金（第2世代交付金） 活用事業のKPI一覧

1 ソフト事業

No.	事業名	事業概要	重要業績評価指標(KPI)	事業開始からR7事業終了時 までの増加分(累計)		進捗 状況
				目標値	実績値	
1	がん地域医療次世代モデル構築推進事業 (R3～R7年度)	国立がん研究センターや慶應先端研と連携してメタボローム解析技術を用いた研究の事業化を推進することにより、次世代地域医療モデルの構築を目指す。また、連携研究拠点の研究内容の周知拡大等の取組みにより、研究成果を活用した新たな産業の創出や、国内外の研究者等高度人材の集積、交流人口の拡大を図る。	支援事業を通じた新たなサービス、製品の事業化数(商品)	7	統計値 未発表	—
			支援事業を通じた新サービス、新製品の事業化に伴う新規雇用者数(人)	17	統計値 未発表	—
			次世代医療メタボローム解析データのデータベース登録数(件)	1,200	1,536	達成
			県内医療機関等とのがん治療等に関する連携(共同研究含む)数(件)	5	3	更なる 取組み が必要
2	地域づくりの新たな担い手となる関係人口創出・拡大プロジェクト (R6～R8年度)	地域等と都市部企業等との協働事業への支援等を通して、関係人口など、地域内外を問わない多様な主体を新たな地域の担い手として確保する仕組みを構築するとともに、関係人口を受け入れる地域の体制の強化を図り、関係人口等の創出・拡大を目指す。	山形県へのUIターン者数(県移住相談窓口を通じて移住した人数)(人)	34	306	達成
			事業により創出した関係人口数(人)	335	296	概ね順調
			事業により創出した交流人口数(人)	14,849	17,360	達成
			事業により関係人口を受け入れる体制が整った地域・団体等数(地域・団体等)	157	266	達成
3	イノベーション・DXの推進とブランド力の強化による地域産業の競争力強化事業 (R6～R8年度)	ものづくり産業における創業・事業化支援によるイノベーションの創出、県内企業の競争力強化に向けたDX推進、新たなデジタル技術を核とした人材育成・ビジネス創出及び県産品のブランド力を強化する取組みを通して、県内産業における生産性向上や高付加価値化を推進する。	山形県における新規雇用者数(人)	45	9	更なる 取組み が必要
			一人当たりの県民所得(千円)	200	統計値 未発表	—
			本事業を通して新たにDX認定事業者に認定された県内企業数(社)	8	9	達成
			物産展開催会場総数(件)	2	3	達成
4	誰もが活躍できる地域づくり推進事業 (R7～R9年度)	若者や女性、外国人が地域で活躍できる環境の整備及び県内定着に向けた取組みや性的マイノリティに対する理解の促進などを通じて、魅力的で働きやすく暮らしやすい、多様な人材が活躍できる地域づくりを推進する。	UIターン数(若年層の転出超過数の改善)(人)	20	5	更なる 取組み が必要
			外国人(全年齢)の転入超過数の前年からの増加数(人)	100	統計値 未発表	—
			増加した多文化理解講座参加者数(人)	871	2,451	達成
			情報発信事業へ参加した若者数(人)	20	20	達成

No.	事業名	事業概要	重要業績評価指標(KPI)	事業開始からR7事業終了時までの増加分(累計)		進捗状況
				目標値	実績値	
5	GX関連産業への参入促進による稼ぐ力の向上(R7～R9年度)	企業の脱炭素経営の推進やGX関連産業分野に係る技術力・開発力の向上、脱炭素経営に取り組む企業の取引拡大とGX関連産業の創出に向けた取り組みを通じて、本県産業の稼ぐ力を向上させ、県内企業の持続的な成長を図る。	新規雇用者数(人)	35	38	達成
			新規顧客獲得数(件)	50	74	達成
			脱炭素経営に取り組む企業数(件)	300	317	達成
			企業がGX関連の技術開発に取り組む件数(件)	10	18	達成
6	地域課題解決型ビジネス創出事業(R7～R9年度)	希望する市町村にコーディネーターを派遣し、地域における社会的な課題をビジネスで解決する手法の実践等を通じて、新たなビジネスの創出を図る。	厚生労働省調査の「雇用保険事業年報」に基づく事業所開業率(%)	0.10	統計値未発表	—
			地域課題解決型ビジネス創出の支援体制構築に着手した市町村数(市町村)	3	3	達成
			地域課題解決型ビジネスの創出に向けて、コーディネーターが各市町村において支援する具体的事業数(件)	10	13	達成
7	さくらんぼ王国果樹産地活性化事業(R7～R9年度)	気候変動の影響に対応する技術の開発やスマート農業を活用した果樹栽培の推進、「樹園地継承データベース」を活用したマッチングの推進、ブランドの確立と情報発信を通じて、さくらんぼをはじめとした果樹産地の活性化を図る。	1経営体当たりの果樹産出額(万円)	51.00	統計値未発表	—
			スマート農機を導入した果樹経営体(経営体)	10	11	達成
			「樹園地継承データベース」システムを介した農地の出し手と受け手のマッチングの成立件数(件)	10	1	更なる取り組みが必要
			支援を受けてさくらんぼの高温対策に取り組む樹園地の面積(ha)	200.00	200.00	達成
8	活用と保全を一体とした取り組み展開による山岳資源の魅力向上・利用拡大事業(R7～R9年度)	「山」のさらなる魅力向上・発信による利用(誘客)拡大、自然環境(観光資源)の保全を両輪とした一体的な事業を通じて、山がもたらす多彩な自然を活かした持続可能な経済活動の推進や、交流人口・関係人口の拡大を図る。	地域における観光消費額(百万円)	13,800.00	統計値未発表	—
			旅行での延べ宿泊者数(万人泊)	189.00	統計値未発表	—
			山岳観光地の観光者数(千人)	47.30	統計値未発表	—
			山岳保全活動参加人数(人)	10	15	達成
9	持続可能な野生鳥獣被害防止に向けた体制整備(R7～R9年度)	地域における被害防止体制の検討を行う組織の設立や野生鳥獣の生息状況調査、地域におけるツキノワグマを寄せ付けない取り組みへの支援及びイノシシ被害抑制のための捕獲対策を通じて、安定した農業生産の促進を図る。	本事業によるイノシシ及びツキノワグマによる農作物被害の抑制額(千円)	0.00	統計値未発表	—
			本事業により被害防止対策に係る連携体制に取り組む市町村数(市町村)	10	13	達成
			本事業によるツキノワグマ対策支援数(件)	20	32	達成
			本事業によるイノシシ捕獲の増加数(頭)	300	706	達成

No.	事業名	事業概要	重要業績評価指標 (KPI)	事業開始からR7事業終了時 までの増加分(累計)		進捗 状況
				目標値	実績値	
10	山形らしい「おもてなしの心」で全ての人々を受け入れ多文化共生社会を観光面から実現する「アクセシブルツーリズム」推進事業 (R7～R9年度)	アクセシブルツーリズムの機運醸成や受入環境整備への支援、県外からのアクセス性向上に向けた取組みを通じて、年齢や性別、国籍、障がいの有無、宗教、生活習慣等に関わらず、すべての旅行者が旅を楽しめる観光地域づくりを図る。	観光消費額(全体)(百万円)	13,800.00	統計値 未発表	—
			観光庁「観光施設における心のバリアフリー認定制度」における本県認定施設数の全国順位の増加数(位)	4	▲ 8	策定時 を下回る
			観光庁「観光施設における心のバリアフリー認定制度」における本県認定施設の数(施設)	21	11	更なる 取組み が必要
			60歳代以上の観光者数(千人)	444.70	統計値 未発表	—
			仙台空港—山形駅間直行バスの平均乗車人数(人/便)	4.30	2.00	更なる 取組み が必要
11	山形のスポーツや山形ならではの文化芸術など観光以外の多様な目的での来県者を観光に誘導する新たな県内周遊促進事業 (R7～R9年度)	スポーツ観戦者や文化芸術鑑賞者の行動や嗜好に関する現状分析及び課題解決に必要な客観的データの収集を行い、マーケティングに基づいた取組みを通じて、観光以外を目的として来県する方に+αで消費活動を促すことで、地域経済の活性化を図る。	観光消費額(全体)(百万円)	13,800.00	統計値 未発表	—
			延べ宿泊者数(人泊)	189,000	168,290	概ね順調
			平均宿泊数(泊)	0.01	▲ 0.07	策定時 を下回る
			新たな実証事業の取り組み数(件)	1	1	達成
12	国内外の市場に向けた県産農産物等の販売拡大事業 (R7～R9年度)	多様なチャネルを活用した販路開拓や産業間連携等による新たなビジネスの創出、県産農産物の輸出拡大に向けた取組みを通じて、持続可能な食料供給県やまがたの実現を図る。	山形県における農林水産出荷額(億円)	0.00	統計値 未発表	—
			支援事業による新たな販路への取引額(百万円)	70.00	統計値 未発表	—
			支援事業により商品化した件数(件)	12	15	達成
			山形県産農産物の輸出額(億円)	1.25	統計値 未発表	—
13	生産者が安心して取り組める魅力的で持続可能な水産業促進事業 (R7～R9年度)	県産水産物の付加価値向上や庄内浜産水産物の認知度向上、新たな加工品の開発・販路開拓などの取組みを通じて、本県水産業の持続的な発展を図る。	海面漁業生産額(億円)	1.00	統計値 未発表	—
			県産ブランド魚種の平均単価(円/kg)	27	▲ 262	策定時 を下回る
			経営体当たりの海面漁業生産額(万円)	38.00	統計値 未発表	—
			新規漁業就業者数(人)	20	10	更なる 取組み が必要

No.	事業名	事業概要	重要業績評価指標(KPI)	事業開始からR7事業終了時 までの増加分(累計)		進捗 状況
				目標値	実績値	
14	プロフェッショナル人材の 活用による中小企業成長 実現事業 (R5～R9年度)	デジタル化などの時代の 流れに対応しながら新 たな市場を開拓し、「しごと」が「ひと」を呼び、「ひと」が「しごと」を呼び込む 好循環を生み出せるよう、 地域企業の企業力を高める プロフェッショナル人材 のマッチング支援を行い、 本県への労働人口の流入 を促進しながら、地域 経済の維持を図る。	地域企業に対するプロフェッショナル人材 マッチング件数(件)	210	247	達成
			地域企業の経営課題に関する相談件数 (件)	675	717	達成
			マッチング件数のうちデジタル化推進に資 する件数(件)	21	35	達成
15	山形県移住支援事業・ マッチング支援事業・地方 就職学生支援事業、 山形県地域課題解決型 創業支援事業 (R5～R9年度)	東京圏からの移住並び に本県産業への就業及び 起業を後押しするための 移住支援金を支給する移 住支援事業、本県産業と 就業者のマッチングを支 援するための求人情報を 提供するマッチング支援 事業、東京圏の学生が本 県へ移住・就職するため の支援金を支給する地方 就職学生支援事業を実施 する。 併せて、地域の社会的 課題の解決を目指す担い 手を確保するため、社会 的事業分野における起業 者に対して起業支援金を 支給する起業支援事業を 実施する。	本移住支援事業に基づく移住者数(人)	643	322	更なる 取組み が必要
			本起業支援事業に基づく起業者数(人)	15	4	更なる 取組み が必要
			マッチングサイトに新たに掲載された求人 数(件)	660	415	更なる 取組み が必要
			本移住支援事業に基づく18歳未満の世帯 員を帯同して移住した世帯数(世帯)	65	65	達成
16	女性・高齢者・障がい者 向け新規就業・デジタル 就業支援事業 (R5～R9年度)	官民連携のプラット フォームを形成し、各種助 成金や各種相談窓口など の既存の仕組みも活用し ながら、デジタル技術の 活用促進も図りつつ、女 性、高齢者の新規就業者 の掘り起こし、女性、高齢 者、障がい者の受入れ企 業における職場環境の改 善、企業と求職者のマッ チングに関する取組みを 一体的に実施する。	本事業により新規就業が実現した者の数 (新規就業者数)(人)	1,250	2,699	達成
			デジタル技術の習得や仕事への活用促進 の支援に関する取組により、デジタル技術 を仕事に活用している者の数(デジタル活 用者数)(人)	105	440	達成
			障がい者の実雇用率(%)	0.13	0.02	更なる 取組み が必要

2 拠点整備事業

No.	事業名	事業概要	重要業績評価指標(KPI)	事業開始からR7事業終了時 までの増加分(累計)		進捗 状況
				目標値	実績値	
1	東北農林専門職大学(仮称)を活用した農林業のデジタル実装研究・研修拠点整備計画(第1次事業) (R5.3完成)	近年の気候変動にともなう霜害や高温障害に対応するため、屋外気象モニタリング装置等を備えた施設を整備し、ICTやGIS機能を駆使したデジタル技術等の開発に取り組み、省力化や高品質安定多収栽培技術を開発することで、収量・品質の安定化と所得の向上、産地の活性化に寄与する。	施設整備によって向上した技術により増加した産出額(さくらんぼ)(百万円)	600.00	統計値 未発表	—
			施設整備によって向上した技術により増加した農業者一人当たりの産出額(万円)	45.00	統計値 未発表	—
2	東北農林専門職大学(仮称)を活用したスマート農業研究・研修拠点整備計画 (R6.3完成)	リモートセンシングや生育環境モニタリング装置等を備えた施設を整備し、ICT技術による生育診断及び高品質で多収に繋がる環境モニタリング方法をテーマとする研究・研修に取り組み、生産現場への技術普及を図ることで、生産性の向上に貢献し、収入の確保等に寄与する。	施設整備によって向上した技術により増加した産出額(米)(億円)	16.00	統計値 未発表	—
			施設整備によって向上した技術により増加した産出額(野菜)(億円)	6.00	統計値 未発表	—
			研修会等でテーマとした技術のうち、試行的に現場導入した数(件)	2	4	達成
3	東北農林専門職大学(仮称)を活用したスマート畜産研究・研修拠点整備計画 (R6.3完成)	牛群管理システムや分娩監視装置等の様々なデジタル機器を備えた施設を整備し、デジタル技術の実証、展示、研修・普及等に取り組み、生産現場への技術普及を図ることで、生産性の向上に貢献し、収入水準の確保等に寄与する。	施設整備によって開発した技術により増加した産出額(畜産)(億円)	30.00	統計値 未発表	—
			施設整備によって開発した技術により増加した農業者一人当たりの肉用牛産出額(万円)	198.00	統計値 未発表	—
			研修会等でテーマとした技術のうち、試行的に現場導入した数(件)	1	1	達成
4	東北農林専門職大学(仮称)を活用したスマート森林業研究・研修拠点整備計画 (R6.3完成)	リモートセンシングや森林資源情報の収集・解析に必要な設備・施設を整備し、森林資源情報の高精度化や情報収集・解析作業の効率化を進める実用的手法確立の研究、研修に取り組み、現場に普及することで、経営基盤強化や生産性向上に貢献し、収入水準の確保等に寄与する。	施設整備によって確立された手法により増加した県産木材供給量(万m ³)	8.00	統計値 未発表	—
			施設整備によって確立された手法により増加した林業産出額(億円)	6.00	統計値 未発表	—
			研修会等でテーマとした技術のうち、試行的に現場導入した数(件)	1	1	達成
5	モンテディオ山形新スタジアム建設事業 (R7～R10年度)	株式会社モンテディオ山形が行う新スタジアム建設に対して支援し、観光客数の増加、交流・関係人口の拡大、若年層の移住定住の促進を図る。	観光消費額(天童市)(万円)	0.00	0.00 (効果の発現 が今後)	—
			モンテディオ山形ホームゲーム観戦者数(人)	0	0 (効果の発現 が今後)	—
			新スタジアム年間利用者数(人)	0	0 (効果の発現 が今後)	—
			新スタジアムを活用したイベント開催数(動員規模1,000人以上)(回)	0	0 (効果の発現 が今後)	—